

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】西川材を利用した木育空間のデザイン開発とその設計者養成プロジェクト

背景と目的

【背景】

- ・木育の普及により、木育空間、木育ツールのニーズが高まっている。
- ・質の高い木育空間に対応できる建築士、デザイナーは少ない。

【目的】

- ・アクティブラーニング型の研修会を実施し、木材・保育の精通した質の高い空間デザイナーを養成する。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

○保育ニーズに応え、保育を支える木育空間とそのデザイン

- ・西川材(スギ・ヒノキ)を活用した壁、床製品
- ・小規模保育施設向けの家具など

○保育ニーズに応える木育ツールとそのデザイン

- ・玩具、遊具(大型積み木、室内遊具)
- ・屋外用遊具(一坪キャビン、屋外遊具)



写真・図等



事業実施主体

NPO法人木づかい子育てネットワーク
株式会社サカモト

実施体制・連携グループ

- 連携団体(研修会の企画、実施、講師)
 - ・埼玉大学教育学部浅田研究室、吉川研究室
 - ・アトリエフルカワー級建築事務所(古川泰司氏)
- 協力団体(講師、受講者募集・広報への協力)
 - ・都道府県木材協会、建築士会
 - ・幼稚園、保育園協会等
 - ・NPO法人もあなキッズ自然楽校(関山隆一氏)



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

①『木育空間』づくりのためのアクティブラーニング型研修会の開催

○講義形式

講義内容 想定される講師

- ①木育の理解 : 埼玉大学 浅田茂裕、吉川はる奈
- ②保育理解 : NPO法人もあなキッズ自然楽校 関山隆一
- ③木育空間デザイン理解:
アトリエフルカワー級建築事務所 古川泰司
- ④木材生産、加工の理解: 株式会社サカモト 坂本 幸

○ワークショップ形式

- ①木育ニーズに基づく空間デザイン実践
- ②保育者、実践者との対話による学び
- ③木育理解のための保育ツールの設計と製作
→優れた設計について、製品化に向けた試作を行う。

②保育所事例の視察・見学会の実施

- ①優良事例の視察、情報交換
- ②都内小規模保育所の視察、情報交換

③成果発表会の開催およびまとめ

④事業検討会議の開催

スケジュール

7月

事業検討会議

8月

参加者
募集

9月

参加者
確定

10月

第1回
研修会

11月

第2回
研修会

視察

12月

成果
発表会

1月

報告書作成

【テーマ】西川材を利用した木育空間のデザイン開発とその設計者養成プロジェクト
申請者

NPO法人木づかい子育てネットワーク: 研修企画、事務、進行管理

株式会社 サカモト : 製品試作・デザイン開発

研修会の開催

連携団体(研修会の企画、実施、講師)
・埼玉大学教育学部、
・アトリエフルカワー級建築事務所
・NPO法人もあなキッズ自然楽校
協力団体(受講者募集・広報への協力)
・都道府県木材協会、建築士会
・幼稚園、保育園協会等

製品の試作

製作 株式会社サカモト
連携団体(材料供給)
・飯能市森林認証協議会

視察

協力団体
・わらしべの里共同保育所(熊谷市)

成果発表会の開催